

文教福祉環境常任委員会研修報告

委員長 柴原 忍

当委員会は10月27日及び28日の両日、京都府八幡市と岐阜県多治見市を訪問しました。各議員の方々は、積極的に質問をされ、環境施策に対する強い熱意を感じました。

◎京都府八幡市では「LAS-Eの取り組み状況について」をテーマに、省エネ、省資源、リサイクル、廃棄物削減、グリーン購入などの説明を受けた。

*環境基本計画推進体



① 市民の役割：環境保全、環境学習への参加

② 事業者の役割：市民活動や市の施策に協力する

③ 行政の役割：環境目標の実現

市民、事業者、行政、三者が一体となった取り組みで小学生から高齢者までの幅広い市民の積極的な活動と組織作りを進めていることが



特長

*環境基本計画の進行管理

環境指標を利用した環境の現状や取り組みの把握と評価をしつつより良い制度を構築していく。

◎岐阜県多治見市では平成15年に行われた第3回首都コンテストで全国第一位を獲得。

*環境行政の特長

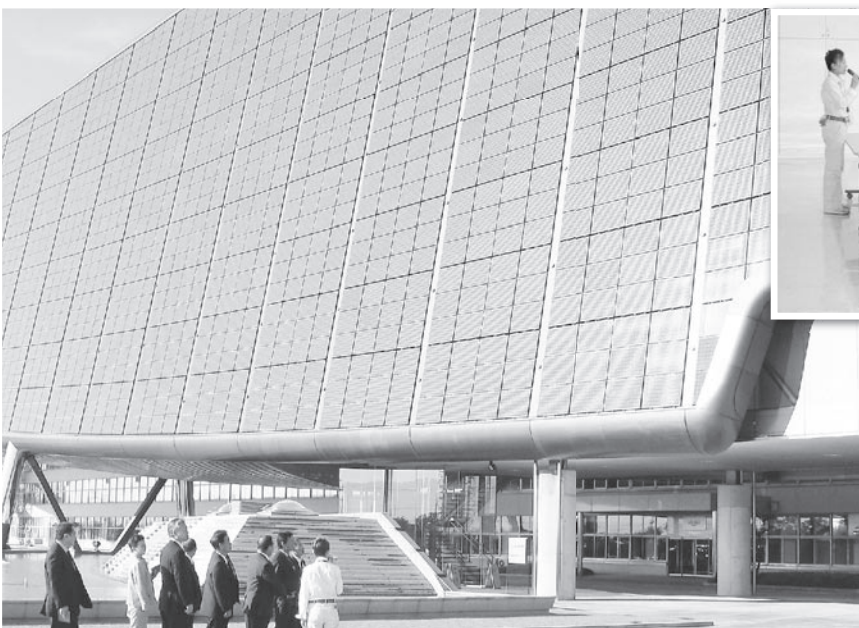
① 環境行政は、以前環境課が行う事業であったが、市役所全ての課が専門領域を生かして推進する。

② 環境課は事務局となり「総合調整」「進行管理」を行う。

●多治見市における市政満足度調査で「ゴミ処理、リサイクル」政策が満足度第一位。

●環境に対しての負担が増えるように思われるが、長い目で見れば、そのことにより市民の生活が潤う事になる。

「市民の負担増」は必ずしも「悪政」ではない。



ラスーイ LAS-Eとは

環境自治体会議環境政策研究所が開発した環境自治体スタンダード (Local Authority's Standard in Environment、以下 LAS-E とする) を運用基準とし、自治体が「環境自治体」としてふさわしいかどうかをチェックする基準です。